



筑波大学附属病院 茨城県地域臨床教育センター

# 05 茨城県立中央病院

## 病院の概要

**開設** | 1956年1月  
**開設者** | 茨城県  
**院長名** | 吉川 裕之  
**病床数** | 500床 (一般475床、結核25床)

**標榜科 (35科)**  
 内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、血液内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、循環器外科、血管外科、心臓血管外科、乳腺外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、病理診断科、脳神経外科、麻酔科、精神科、リウマチ科、歯科口腔外科

**医師数** | 149名  
**指導医数** | 75名  
**研修医数** | 25名

**研修医の主な出身大学**  
 自治医科大学、筑波大学、東京大学、北海道大学、旭川医科大学、弘前大学、福島県立医科大学、日本医科大学、京都府立医科大学、福井大学、近畿大学、愛知医科大学、宮崎大学、慶應義塾大学、北里大学、杏林大学、関西医科大学、獨協医科大学

**外来患者数** | 1,039人  
**入院患者数** | 400人

## 募集要項

- 応募資格**
  - ・2020年度第115回医師国家試験に合格見込みの方
  - ・既に医籍登録され臨床研修を未実施の方。
- 採用人数** | 12名 (見込み)
- 試験日程** | 当院のホームページ等でご確認ください。  
http://www.i-kenshu.jp/
- 選考方法** | 筆記試験、面接試験
- 処遇**
  - 身分: 臨床研修医
  - 給与 (平成30年度実績平均、各種手当を含む)
    - 1年次月 508,827円
    - 2年次月 562,515円
  - 賞与: 雇用期間6ヶ月間を超える場合に支給 (7月期は基本額の0.5ヶ月分、12月期は同1.0ヶ月分)
  - 社会保険: 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険
  - 住居補助: 茨城県病院局代用公舎制度利用可 (入居費用は一部を除き病院負担。毎月、費用の一部を入居者が負担。詳細はお尋ね下さい。)

## 病院見学対応状況

- 見学時間…随時 (平日)
- 対象…全学年
- 宿泊…院内宿泊室利用可 (応相談)
- 問い合わせ先…担当者: 臨床研修センター 井川、鶴井、田口  
TEL: 0296-77-1121 (代表)  
E-mail: kenshu@chubyoin.pref.ibaraki.jp



## 応募・問合せ先

筑波大学附属病院 茨城県地域臨床教育センター

### 茨城県立中央病院

臨床研修管理委員会事務局 田口・鶴井  
 〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528  
 TEL: 0296-77-1121  
 FAX: 0296-77-2886  
 E-mail: kenshu@chubyoin.pref.ibaraki.jp  
 URL: http://www.i-kenshu.jp/



- JR常磐線 | JR水戸線  
友部駅より 徒歩 20分  
バス 5分  
タクシー 5分
- 北関東自動車道 | 友部ICより約15分
- 常磐自動車道 | 水戸ICより約20分  
友部SAスマートICより約10分 (ETC専用)

## 女性医師支援

2019年度研修医の女性医師の比率は、27名中9名、33.3%で、女性医師の活躍の場面はますます増加しています。それに伴い、女性専用の仮眠室やシャワー室が設置されているほか、妊娠中や育児中の宿日直研修の免除をはじめ、多様な女性医師支援の取り組みがされています。なお、院内保育園 (24時間保育) を活用した育児と臨床研修の両立も可能です。



ひまわり保育園 (24時間保育可)

## 研修プログラムの特色

- 1 研修医の意志を尊重し、プログラムの自由度を最大限高めることを基本として、研修意欲を引き出す内容としています。
- 2 各研修分野間の垣根が無く、また、各分野とも優れた専門医が在籍し「将来を見据えた」指導を行える体制が整っています。
- 3 自治医大、筑波大、東大から毎年研修医を受け入れ、多様性のある、オープンな雰囲気の中臨床研修に臨めます。

## 研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 (6)						外科 (2)			※		
2年次	地域医療 (2)		精神科 (1)	※			※	※	※			

※予め希望を調査のうえ、次から決定します。  
 必修科目 (救急分野2M、小児科1M又は2M、産婦人科1M)、自由選択科目 (必修科目を含む院内外の研修科目。詳細は研修プログラムを参照) ただし、1年次は院内研修のみとし、2年次の院外研修は必修科を含めて6Mまでです。

## 専門研修の募集について

現在、内科及び外科の基幹施設に認定され、専攻医を募集しているほか、他基幹施設の連携施設としても専攻医を受け入れています。詳細は当院のホームページをご確認ください。

## 研修・認定施設一覧

- ・専門研修関係**
  - 内科専門研修プログラム基幹施設
  - 内科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 水戸協同病院、水戸済生会総合病院、水戸医療センター、ひたちなか総合病院、筑波大学附属病院、東京女子医科大学病院、東京医科大学茨城医療センター)
  - 外科専門研修プログラム基幹施設
  - 外科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院、防衛医科大学校病院、東京大学医学部附属病院) 総合診療専門研修プログラム基幹施設
  - 産婦人科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院)
  - 小児科専門研修プログラム関連施設 (基幹: 筑波大学附属病院、茨城県立こども病院)
  - 耳鼻咽喉科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院)
  - 泌尿器科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院、国際医療福祉大学病院)
  - 病理科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院、東京大学医学部附属病院)
  - 救急科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院)
- 形成外科専門研修プログラム関連施設 (基幹: 筑波大学附属病院)
- リハビリテーション科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院)
- 皮膚科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院)
- 整形外科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 東京大学医学部附属病院)
- 放射線科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院)
- 眼科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院)
- 脳神経外科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院)
- 麻酔科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院)

- 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- 日本眼科学会専門医制度研修施設
- 日本病理学会病理専門医制度認定病院 B
- 日本プライマリ・ケア連合学会認定医研修施設
- 日本リウマチ学会認定施設
- 日本消化器学会認定施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本血液学会血液研修施設
- 日本神経内科学会准教育施設
- 日本腎臓学会研修施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設 I
- 日本肝臓学会認定施設
- 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連認定施設
- 日本消化器外科学会認定専門医研修施設
- 日本産産期・新生児医学会暫定研修認定施設
- 呼吸器外科専門医認定機構認定基幹施設
- 日本集中治療医学会専門医研修認定施設
- 日本婦人科腫瘍学会指定修練施設
- 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設

- 日本乳癌学会認定専門医制度関連施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本呼吸器外科学会指導医制度認定施設
- 日本肝臓学会認定高度技能医研修施設 A
- 日本食道学会全国登録認定施設
- 日本胆道学会認定指導医制度指導施設
- 日本脈管学会認定研修指定施設
- 日本透析医学会専門医制度教育関連施設
- 日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医制度指定研修施設
- 日本放射線腫瘍学会認定協力施設
- 日本 IVR 学会専門医修練認定施設
- 日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定規則実地修練認定教育施設
- 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働認定施設
- 臨床遺伝専門医制度研修施設

- ・その他施設等**
  - JCOG 婦人科腫瘍グループ参加施設
  - JCOG 肺がん外科グループ参加施設
  - JCOG 消化器内視鏡グループ参加施設
  - JCOG 食道がんグループ参加施設
  - 日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設
  - 日本養老法推進協議会 NST 稼働認定施設
  - 日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修事業研修施設
  - 日本核医学会専門医教育病院

## 病院からメッセージ



**プログラム責任者・研修実施責任者**  
**小島 寛 副院長**

当院の初期研修では、総合診療、プライマリ・ケア、救急対応の基本的な知識・技能が身につくことを目標にし、上級医によるマンツーマンの指導が行われています。初期研修の2年間は医師としての基礎を築く重要な時期ですが、当院では、やる気さえあれば多くの症例を経験することができ、またカンファレンス、レジデント・レクチャー等様々な教育プログラムが用意されていますので、同時に考える力を養うこともできます。他の施設、特に大病院では経験できない素晴らしい研修の機会がここには用意されています。2年間の研修で、今後の医師としてのキャリアの基礎になる真の実力、高い現場対応能力を養いましょう。



**研修医**  
**谷田部 翔**

当院の臨床研修は、充実した指導体制と豊富な症例数のもと、多くの経験を積めることが最大の魅力であると思います。通年の救急当番や直当では、軽症から重症まで多様な症例を経験できます。当院は様々な診療科を持ち、各診療科の指導も手厚く、市中で良く見かける疾患から診断治療に苦慮する症例まで、幅広く経験することができます。また、毎週定期的に開催されるベテラン指導医によるレジデントレクチャーをはじめ、入職直後には、一般的な手技を身に付けるための研修会への参加機会もあり、その後の実践を通じて、しっかりと手技を身に付けることができます。医師としての初期には、多くの疑問や悩みが付きませんが、上級医のサポートや同期の存在はとて頼もしく、臨床研修のための良質な環境が整っていると感じます。